



平成 28 年 5 月 27 日

各 位

会 社 名 株式会社 プラコー  
代表者名 代表取締役社長 黒澤 秀男  
( J A S D A Q ・ コード 6 3 4 7 )  
問合せ先 総務・経理部部長 山崎 正彦  
電話 0 4 8 - 7 9 8 - 0 2 2 2

## 株主提案に対する反対表明のお知らせ

当社は、平成 28 年 6 月 2 9 日開催予定の第 56 期定時株主総会について、平成 28 年 4 月 18 日付で下記株主より株主提案権行使（以下、「本株主提案」といいます。）に関する書面を受領し、その対応について検討を重ねてまいりました。その結果、本日開催の当社取締役会において、本株主提案に反対することを決議いたしましたので、反対理由と合わせてお知らせいたします。

### 記

#### 1. 提案株主

有限会社フクジュコーポレーション（保有株式数 4, 337, 000 株）

#### 2. 株主提案の内容

##### 議題その 1

取締役 5 名（井手和成氏、國枝博昭氏、玉置修一郎氏、友田純子氏、南隆氏）選任の件

##### 議題その 2

監査役 1 名（石川達紘氏）選任の件

#### 3. 本株主提案に対する当社取締役会の反対意見

平成 28 年 5 月 27 日に開催された当社取締役会において、以下の理由により、本株主提案に反対の意見表明を行うことを決議いたしました。

##### ① 現経営体制による経営改革の成果

当社が平成 28 年 5 月 12 日に発表いたしました平成 28 年 3 月期決算発表では、売上高こそ前期比 0. 2%のマイナスとなりましたが、営業利益は前期比 210. 5%増、当期純利益は前期比 75. 9%増と、利益面が大幅に改善いたしました。これは、昨年 7 月 1 日に現社長である黒澤が就任以降、早急に経営改革を実行し、営業体制の強化による採算性重視の新規受注確保や、仕入コスト等の低減による製造原価率の改善などを一気に進めた成果であると考えております。

当社は営業面、開発面、生産面において、更なる経営改革を行う余地が残されており、引き続き社内一丸となって企業価値向上に努め、利益を創出できる企業へと革新していく所存です。なお、平成 29 年 3 月期の業績予想では、営業利益、当期純利益が更に 50%程度増加する見込みとなっております。

② 会社提案が当社の企業価値向上の観点から最良の選択肢であること

当社は、平成 28 年 6 月 29 日開催予定の第 56 期定時株主総会において、「別紙 1」に記載の通り、現任の社外取締役 1 名に加えて、独立性が確保された社外取締役を 1 名追加し、社内取締役 3 名、社外取締役 2 名の計 5 名を取締役候補者として上程いたします。

昨今の、上場企業におけるコーポレート・ガバナンス強化の潮流を踏まえて社外取締役を複数名選任しつつ、入社以来、営業・開発・生産の各主要部門を牽引した実績と経験が豊富な社内取締役 3 名が一体となって当社の企業価値向上に努めていく所存であり、最良の選択肢であると考えております。

また、コーポレート・ガバナンス体制の強化を目的として、社外監査役を 1 名増員いたします。当社が上程する監査役選任議案が承認された場合には、社内監査役 1 名、社外監査役 3 名となり、より厳しい視点で経営を監視する体制が整うこととなります。

一方で、「別紙 2」に記載の通り、本株主提案には取締役候補者、監査役候補者の詳細な略歴が記載されていないばかりか、社内取締役候補者と社外取締役候補者の内訳も明記されておりません。本株主提案が承認された場合には、コーポレート・ガバナンス上の重大な懸念が生じるリスクを孕んでいると考えております。

③ 本株主提案が承認された場合の事業継続リスクと企業価値毀損のおそれ

本株主提案では、現任取締役が 1 名も候補者となっておりませんので、本株主提案のみが承認された場合には、当社の事業に一切関与した経験が無い取締役のみで経営が行われることとなります。しかしながら、当社の高品質、高付加価値のプラスチック成形技術、及びその関連事業は、いずれも高い専門性と技術に対する知見が必要不可欠であります。また、当社は 10 年、20 年と長きにわたってお取引をいただいているお客様が多く、相互の深い信頼関係に基づく取引の継続性に深刻な問題が生じる可能性が高いと考えております。長年の取引の過程において培われたお客様のニーズに応え、適切かつ迅速なメンテナンスや改良を実施して創り上げてきた事業基盤が、根底から揺らぎかねない事態であると認識しております。

以上の理由により、当社取締役会は、本株主提案に反対いたします。当社は、株主様によって本株主提案が否決され、会社提案の取締役候補者、及び監査役候補者全員のご承認をいただけますことが、当社の企業価値向上にとって最良の選択肢であると確信しております。

以上

## 別紙1

## 取締役候補者（会社提案）

候補者 番号	氏名 (生年月日)	略歴、地位、担当及び 重要な兼職の状況	所有する 当社株式数
1	くろさわひでお 黒澤 秀男 (昭和36年12月10日)	昭和60年4月 当社入社 平成11年4月 当社本社営業部長 平成18年4月 当社購買部長 平成22年6月 当社取締役営業部長 平成23年7月 当社取締役 平成24年7月 当社常務取締役 平成26年7月 当社代表取締役専務 平成27年7月 当社代表取締役社長 現在に至る	50,000株
2	しのざわきよたか 篠澤 浄天 (昭和27年10月11日)	昭和46年3月 当社入社 平成11年4月 当社生産本部技術部長 平成13年4月 当社生産本部購買部長 平成21年4月 当社生産本部生産管理部長 平成23年4月 当社生産部執行役員 (管理・購買・原価管理担当) 平成24年7月 当社取締役執行役員 (管理・購買・原価管理担当) 平成25年7月 当社取締役 現在に至る	15,000株
3	ひらいしまさゆき 平石 昌之 (昭和40年10月13日)	昭和59年4月 当社入社 平成14年4月 当社環境機械事業本部環境機械部長 平成15年10月 当社営業本部関東営業部担当部長 平成19年4月 当社営業本部営業統括部長 平成23年4月 当社営業部執行役員 (営業担当) 平成24年7月 当社取締役執行役員 (営業担当) 平成26年7月 当社取締役 現在に至る	32,000株
4	おざわたけし 小沢 剛司 (昭和42年9月10日) 社外取締役候補者	平成9年4月 弁護士登録（埼玉弁護士会） 平成9年4月 小宮法律事務所入所 平成12年10月 小沢法律事務所開設 平成22年6月 当社取締役 現在に至る	0株

5	おばたまさじ 小幡 雅二 (昭和22年6月4日) 社外取締役候補者	昭和48年4月 検事任官（東京地方検察庁） 昭和54年6月 弁護士登録（東京弁護士会） 昭和54年6月 清水利男法律事務所 昭和58年5月 小幡雅二法律事務所開設 平成16年6月 キョーリン製薬ホールディングス 株式会社 社外監査役 平成17年4月 筑波大学大学院ビジネス科学研究科 教授 平成24年3月 同定年退職 現在に至る	0株
---	--	---	----

- (注)
- 各候補者と当社との間には特別の利害関係はありません。
  - 小沢剛司氏は、弁護士として培われたコンプライアンス等に関する専門的な知識・経験等を当社経営にいかしていただくため、社外取締役として選任するものであります。なお、当社は、小沢剛司氏を東京証券取引所の定めに基づく独立役員として届け出ております。
  - 小幡雅二氏は、検事・弁護士として培われたコンプライアンス等に関する専門的な知識・経験等を当社経営にいかしていただくため、社外取締役として選任するものであります。なお、当社は、小幡雅二氏を東京証券取引所の定めに基づく独立役員として届け出る予定です。
  - 小沢剛司氏の当社社外取締役就任期間は本総会終結の時をもって6年となります。

#### 監査役候補者（会社提案）

候補者 番号	氏名 (生年月日)	略歴、地位、担当及び 重要な兼職の状況	所有する 当社株式数
1	のぎまさし 野崎 正 (昭和37年2月8日) 社外監査役候補者	平成6年4月 弁護士登録（埼玉弁護士会） 平成6年4月 石川博光法律事務所入所 平成12年10月 さいたま法律事務所設立 平成15年4月 埼玉弁護士会副会長 現在に至る	0株
2	いぐちけんいち 井口 憲一 (昭和20年9月3日) 社外監査役候補者	昭和46年4月 警察庁入庁 昭和56年4月 西ドイツ日本国大使館一等書記官 昭和60年9月 宮城県警察本部警務部長 平成2年4月 警察庁鑑識課長 平成3年4月 鳥取県警察本部長 平成6年7月 警察庁国際第一課長 平成10年4月 社団法人全日本トラック協会常務理事 現在に至る	0株

- (注)
- 候補者と当社との間には特別の利害関係はありません。
  - 野崎正氏は、弁護士として培われた専門的な知識・経験等を当社の監査役体制にいかしていただくため、社外監査役として選任するものであります。なお、当社は、野崎正氏を東京証券取引所の定めに基づく独立役員として届け出る予定です。
  - 井口憲一氏は、警察庁等で培われた豊富な経験、幅広い知見等を当社の監査体制にいかしていただくため、社外監査役として選任するものであります。なお、当社は、井口憲一氏を東京証券取引所の定めに基づく独立役員として届け出る予定です。

## 別紙 2 (本株主提案)

(注) 株主提案書面に記載されている候補者の住所は削除しております。

### 提出する議題の要領 (その 1)

- (1) 下記 5 名を取締役として選任する
- |                     |                    |
|---------------------|--------------------|
| 井手和成 (イデ カズシゲ)      | 1945 年 1 月 17 日生まれ |
| 國枝博昭 (クニエダ ヒロアキ)    | 1951 年 2 月 21 日生まれ |
| 玉置修一郎 (タマキ シュウイチロウ) | 1932 年 9 月 23 日生まれ |
| 友田純子 (トモダ ジュンコ)     | 1973 年 3 月 26 日生まれ |
| 南隆 (ミナミ タカシ)        | 1952 年 3 月 26 日生まれ |
- (2) 提出する議案の理由
- (i) 取締役候補者の略歴について
- 井手は、貴社の発行済株式 4,337,000 株を保有する通知人の代表者です。  
國枝氏は、東京工業大学教授として、技術開発等に関する見識を有しております。  
玉置氏は、京都大学大学院を中退後、日本興業銀行（現みずほ銀行）に入学し、同行常務取締役を務め、民間企業の役員を歴任してきました。  
友田氏は、青山学院大学経済学部を卒業後、出光興産株式会社に入社し、その後、民間企業の代表取締役を歴任してきました。  
南氏は、東京大学法学部を卒業後、警察庁に採用され、内閣情報調査室内閣審議官を最後に退職いたしました。
- (ii) 取締役候補者の戦略について
- 取締役候補者は、貴社の企業理念や、市場をリードする新機能・高品質・高付加価値商品の開発力に魅力を感じてきました。取締役候補者は、いずれも、業績拡大を目的に経営陣と一体となり、①主力事業の強化、②海外戦略の展開、③新領域ビジネスの創造を実践することが可能な人材です。加えて、新領域分野でのビジネスの創造を行い、既存の事業資産を活用しながら相乗効果が期待される新事業を策定し、収益獲得の柱として成長させていく所存です。  
取締役候補者は、会社経営の基本方針とされる適正利益の確保と企業の発展、株主への配当を実現して社会貢献できる企業を目指します。

### 提出する議題の要領 (その 2)

- (1) 下記の者を監査役として選任する
- |                  |                   |
|------------------|-------------------|
| 石川達紘 (イシカワ タツヒロ) | 1939 年 4 月 4 日生まれ |
|------------------|-------------------|
- (2) 提出する議案の理由
- 石川は、東京地方検察庁検事正、名古屋高等検察庁検事長を歴任し、検事退官後は弁護士登録を行い、著名企業の取締役、監査役を歴任し、会社の監査業務に精通しております。